

一般社団法人日本遊戯療法学会 第19回研修会 ご案内

テーマ：「遊戯療法のアセスメントを極めるために」

日時：2022年3月13日(日) 10時30分～16時40分

会場：Zoom（オンライン開催に変更になりました）

もう古典となりつつありますが、土居健郎先生のご著書に『方法としての面接』（医学書院）という名著があります。「見立て」という章のなかで、日常語としての「見立て」は「専門家が患者に告げる病気についての意見の総体である」「ストーリーが読めないと、見立ては立たない」と土居先生は述べておられます。

「見立て」という言葉は、鉱山の鉱脈を地表から探り当てる際にも用いられてきたものであると言われます。まさに見えないものの在りか、そのつながりをわずかな手掛かりをもとに探っていく試みは、心理臨床の「見立て」の実践に通じるものがあるでしょう。

私が大学院生の頃に土居先生の本を読んだとき、「そのストーリーはどうやって読むのか」と悩んだことを思い出します。事例検討会に出席し、鮮やかな切り口で事例のストーリーをまとめてくださるコメンテーターに、ずっと憧憬の念をいただけてきました。

今回は、精神分析と分析心理学をご専門に、いまでも精力的に臨床活動を行っておられる臨床家であり、著名な学者でもあるお二人の先生をお招きして、この「ストーリーの読み方」の極意を体感していただければと思います。

いま、体感と書きました。私見ですが、見立てを立てられるようになるためには、臨床心理学や精神医学などの知識はもちろんのこと、クライアントが本当に取り組みたいと思っていることをストーリーにして提示する鉱脈探しの感覚が求められます。これだけは、先達の技（思考）を真似ながら、練習を積む以外に習得するすべがありません。今回の研修が、その一つのきっかけ（体験）になれば幸いです。

多くの方々のご参加をお待ちしております。

2021.11.1

研修委員長 村松 健司
研修委員 小林真理子
波多江洋介
金丸 隆太
樋口亜瑞佐

プログラム

本研修会は対面形式からオンライン配信に変更しました

- 10:30 開会挨拶 研修委員長 村松健司（東京都立大学）
- 10:40～11:40 精神分析のケースフォーミュレーション
講師 妙木浩之先生（東京国際大学）
司会 波多江洋介（研修委員・白百合女子大学）
- 11:40～12:40 昼休憩
- 12:40～13:40 ユング派のケースフォーミュレーション
講師 北口雄一先生（北口分析プラクシス）
司会 樋口亜瑞佐（研修委員・愛知教育大学）
- 13:50～16:50 事例シンポジウム（途中休憩あり）
「児童養護施設におけるプレイセラピー：箱庭で展開される物語」
講師 妙木浩之先生（東京国際大学）精神分析の視点から
講師 北口雄一先生（北口分析プラクシス）分析心理学の視点から
司会 小林真理子（研修委員・放送大学）
金丸隆太（研修委員・茨城大学）

※この研修は、(公財)日本臨床心理士資格認定協会にポイント申請する予定です。

講師紹介

妙木 浩之 先生

南青山心理相談室セラピスト、東京国際大学人間社会学部教授。佐賀医科大学助教授、久留米大学文学部助教授を経て現職。精神分析家（IPA）、臨床心理士、公認心理師。著書に『初回面接入門心理力動フォーミュレーション』（岩崎学術出版社）、『寄る辺なき自我の時代－フロイト「精神分析入門講義」を読み直す』（現代書館）ほか。

北口 雄一先生

北口分析プラクシス代表。京都大学大学院教育学研究科博士後期課程単位取得満期退学。チューリッヒ・ユング研究所にてユング派分析家資格取得。私設心理相談を中心に、スクールカウンセリング等、多方面に渡り臨床実践を行っている。『朝倉心理学講座9 臨床心理学』（朝倉書店）、共訳に、『ユングの神経症概念』（創元社）など。

1. 参加資格

- ①日本遊戯療法学会会員
- ②臨床心理士または公認心理師の資格を有する非会員
- ③臨床心理学専攻の大学院生

※いずれも発表事例に関する守秘義務を遵守できる方

※オンライン配信に関する留意点を順守できる方

2. 定員

100名 ※参加者が多い場合は、学会員優先となりますのでご了承ください。

3. 参加費

- ①会員 4,000円
- ②非会員 6,000円
- ③大学院生 3,000円

4. 参加申し込み方法

電子メールでお申し込みください。受付は先着順になります。定員を満了した場合は、待機リストに登録され、キャンセルがあった場合に、ご参加いただきます。

必要事項【氏名（ふりがな）、参加資格種別（会員・非会員・大学院生）、臨床心理士の方は登録番号、所属、職名、メールアドレス】を記入のうえ、下記アドレスに **2022年2月4日（木）** までにメールにて申し込んでください。（件名は「遊戯療法学会研修会の参加申込」としてください。）

申込先メール playtherapy2022spring@gmail.com

参加の可否をメールでご連絡します。メールには、倫理面の対策として【オンライン事例検討会に関する申し込み・規定事項への同意について】に関する情報が記載されています。説明に従い、規定への同意手続きをおこなってください。この手続きをおこなわない方は研修会には参加できませんので、くれぐれもご注意ください。

5. 参加費の納入

参加費は、下記口座へ 2022年2月28日（月）までにお振り込み下さい。

期日内にこの手続きが確認されませんと研修会には参加できません。

また、一旦振り込まれた参加費のご返金はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

6. 研修に関するお問い合わせ

日本遊戯療法学会第19回研修会事務局

〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1

東京都立大学学生サポートセンター 村松健司研究室内

e-mail : playtherapy2022spring@gmail.com

振込み先 郵便振替口座 00160-8-280823
(ゆうちょ銀行 〇一九 (ゼロイチキュウ) 店 当座 0280823)
口座名義 日本遊戯療法学会研修会

日本遊戯療法学会 オンライン研修における倫理対策

オンラインによる事例シンポジウムでは、以下の守秘義務対策をとります。ご確認のうえ、ルールを順守してください。故意のルール違反があった場合は、一般社団法人日本遊戯療法学会倫理委員会、および一般社団法人日本臨床心理士会に倫理義務違反として報告する場合があります。

- ① Zoom のウェビナー機能を用い、参加者は事前登録制となります。
- ② ウェビナー機能では参加者のカメラとマイクはオフになります。意図せず参加者の発言や映像が流れないようにになっています。質問はチャットで募集し、司会・講師が選んで回答します。
- ③ 事例の資料はダウンロード（保存）できない形で配布します。
- ④ 画面の録画・撮影・スクリーンショットは厳禁です。
- ⑤ 参加者しか画面を見たり音声を聞いたりできない環境でご参加ください。

2022 年 1 月 13 日

一般社団法人日本遊戯療法学会研修委員会